

コンクリート打継板

# パイプレンⅡ<sup>®</sup>

パイプレンⅡ<sup>®</sup> PAT

使い易いタイプ

パイプレンⅡ

※取外しは、コンクリート半硬化時を見計らって下さい。

ジョイント部

栈又は捨筋通し  
※パイプレン除去時には先に外して下さい。

下部捨筋通し

鉄筋

配管

隙間が狭い5ミリ  
パイプ14φ

- 取外しはコンクリートの半硬化時にもたれ材を先に外して下さい。
- セメントの凝結は、スランプや外気温、空気量、補正セメント量、そして早強剤等により凝結時間は大幅に異なります。

## (特長)

- 1.PP.PE製
- 2.パイプ上下スライド自在
- 3.連続継で長尺可能
- 4.コン天レベラー付
- 5.焼却処分OK

## (施工例)



規格	サイズ	入数	定価	コン天レベラー付 (ホルダー・パイプはPE製、 キャップ・コン天レベラーはPP製)
	H300 × 1m	10 m (1	2,000 円/m	
	H400 × 1m	) × 10 )	3,000 円/m	

※従来の紐編タイプも在庫しております。

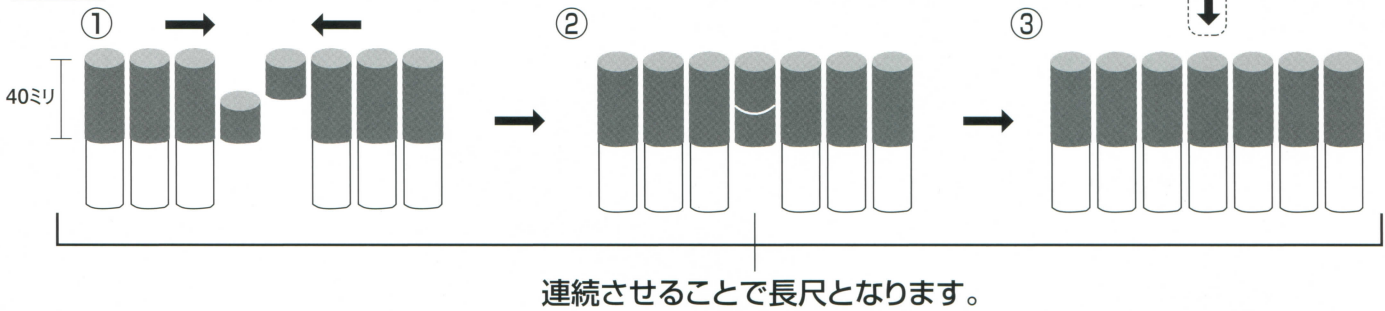
製造元

株式会社 **アークエース** 

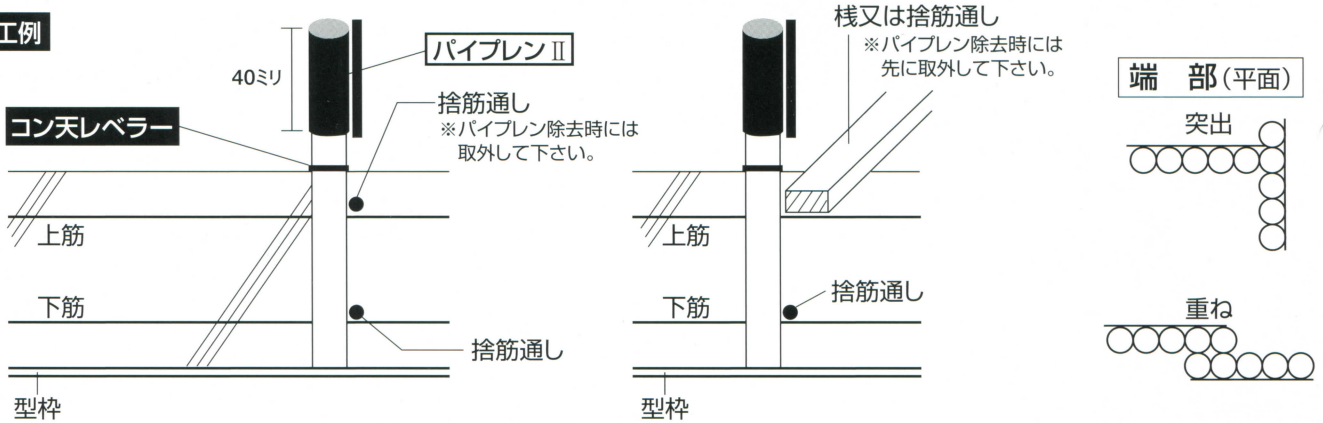
取扱い

# パイプレンII<sup>®</sup> PAT

## 組立

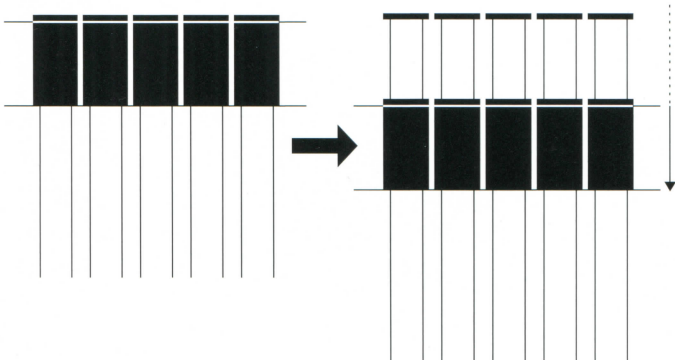


## 施工例



## \* 施工される方へ \*

- 施工はホルダーを掴んで行って下さい。
- ホルダーの位置を下げる事で、よりパイプ列が揃います。  
(下げすぎるとパイプは抜けますので、ご注意下さい。)



## 施工上のお願い

- ① 使用状況やスランプにもよりますが、コンクリート厚200ミリ以上の場合にはパイプの背後に栈木等なんらかの補強(もたれ材)を施してください。  
(特にコンクリート厚が300ミリ以上の場合、補強を十分をお願いします。)
- ② パイプはPE・PP製なので湾曲変形(たわみ)については、支障なき範囲で使用して下さい。
- ③ 取り外しの時は補強(もたれ材)を先に外して下さい。
- ④ 取り外しは、コンクリート打設後、半硬化時通常4H~5Hを目安として下さい。  
但し、スランプや外気温あるいは、その他諸条件で硬化時間は大幅に変化があります。  
適宜見計らって下さい。

取り外しはコンクリート打設後4~5時間を目安として下さい。